

北海道立三岸好太郎美術館×一宮市三岸節子記念美術館 同日開催

せつこっこクラブ 12月「マール記念日！」

開催結果報告

① マールのクリスマスオーナメントをつくろう！

日 時 2021年12月18日(土)午前10時～午後3時
協 力 丸賀絵美子氏 (アトリエ アグラム)
参加費 1回300円
参加者 31人

② 『おばけのマール』絵本の読み聞かせ

日 時 2021年12月18日(土)午前11時～、午後2時～
読み手 中須賀朱美氏 (朗読ぐるーぷ言の葉)
参加費 無料
参加者 計36人

スタッフ 長岡、丹野、名和

「せつこっこクラブ」は子どもたちに三岸節子作品やアートに親しんでもらうため、毎月1回を目安に開催しているワークショップです。

北海道立三岸好太郎美術館（札幌市）が舞台となった絵本「おばけのマール」シリーズ第4作『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』の発行が2008年12月だったことから、好太郎美術館では毎年12月に「マール記念日」として、「おばけのマール」シリーズにちなんだ様々な企画を実施しています。2021年の「マール記念日」は12月18日(土)でした。

同年、節子美術館で企画展「さっぽろからやってきた！『ぼく おばけのマール』絵本原画展」（2021年7月10日～9月1日）を開催し、一宮市民にもすっかりマールが人気者になったことから、好太郎美術館の「マール記念日」に合わせ、節子美術館でも同日にマールをテーマにした「せつこっこクラブ」を開催することにしました。

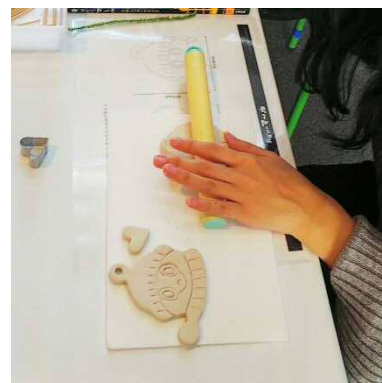
12月18日、札幌からやってきたマールを祝福するように、一宮では初雪が降りました。



「マールのクリスマスオーナメントをつくろう！」ではマールシリーズの絵の作者・なかいれい先生に、冬らしい、かつ型抜きしやすいデザインを3種類描きおろしていただき、マールモーニング（マールメニュー）に参加しているアイシングクッキー教室「アトリエ アグラム」さんに、クッキー型と同じ要領で粘土用の型抜きを作っていただきました。



石粉粘土を棒で伸ばし、型をあてて慎重に抜いたあと、ストローや爪楊枝などで目や鼻、口を描くと、素焼き調の愛くるしいマールのできあがり。ご自宅でクリスマスツリーに飾ったり、乾燥したら彩色を楽しむこともできます。



「絵本の読み聞かせ」では、「おばけのマール」シリーズから『ゆきまつり』『ちいさなびじゅつかん』『モーニングのあとで』の3冊を紹介しました。一宮が舞台となった『モーニングのあとで』のおかげで、一宮の子どもたちはみんなマールが大好き。絵本に“おばあさん”として登場する節子さんにも、自然と親しみを覚えていることでしょう。



今回のマール記念日では、サンタの服装で来館してくれた子どもたちや、マールシリーズの文の作者・けーたろう先生のニセモノ・にせたろうも登場。とても華やかな記念日となりました。



一方好太郎美術館では、なかいれい先生によるマールシリーズの読み聞かせのほか、絵本制作のエピソードトーク、サイン会などが開催されました。



今回は初の試みとして「マール記念日」イベントをそれぞれの館で企画し同日開催しましたが、日本で唯一のパートナー提携館として、今後マールを通じてさらにコラボレーションを深めていけたらいいですね。

(学芸員 長岡昌夫)